

公益社団法人 日本ボディビル・フィットネス連盟
平成25年度 臨時社員総会議事録(抜粋)

◇ 日 時 平成26年3月2日(日) 午後 2 時 00 分から 4 時 40 分

◇ 場 所 国立スポーツ科学センター 大研修室
東京都北区西が丘3-15-1 03-5963-0200

◇ 会長 挨拶及び報告

平成 25 年度臨時社員総会に皆様全国各地よりご出席ご苦勞様です。

今年のテーマは何と言っても日本ボディビル連盟が日本ボディビル・フィットネス連盟となって公益法人になってからの活動と言うことです。

フィットネスという言葉が入ったということは、頂点を目指すトップビルダーの養成だけでなく幅広く健康づくりに於いても大いに貢献していこうということです。しかし、我々はスポーツ競技団体でもある訳ですから、健康づくりといっても健康づくりに直結するようなフィットネス競技種目をボディビル連盟の競技の中の一つとして取り上げていく、活用していく方向になってゆくことと思います。

それに伴ってそのルールの問題とか運営の問題とか、それから登録料の問題とかいろいろ問題が出てまいります。そういうことは全国の皆様方のご意見を反映しながらやっていきたい。しかし、あくまで狙いは健康づくりの層を拡げる。それによってボディビル人口というものを一部の頂点ビルダーだけでなく、広く富士山の裾野までを我々の組織に引っ張り込んでくる、加盟させていく。

ボディビルはすでに 60 年の歴史を持つ訳ですけれど、現在ウエイトトレーニングというものは、あらゆる方面に広まっています。フィットネスクラブでやっている、各大学でもやっていて病院でも取り入れている。それらがボディビル連盟と関係なしになっているのが現状です。

それらを引っ張り込んで、引き戻してくる。我々の範疇に入れる。そうした狙いをもって多角的にやっていきたい。それには競技の種目がマッスルを中心にしたボディビル競技だけでなく、女性の方はフィットネスであり、ボディフィットネスあり、それに新しい種目に世界でどんどん広がっているのがフィットネスビキニです。これはうっかりするとファッションショーになってしまう。我々がやる以上はスポーツ性をしっかり踏まえルールを明確にペナルティもしっかりさせる、もちろんアンチドーピングに徹していかなければならない。

国内では JOC に我々は加盟しているのですから高く評価されるようにもっていく。同時に国際性、IFBB でやっているのだから国際性に連なってくる。そういう権威ある競技として伸ばしていかなければならない。

その様なご協力を皆さんに、今年は是非力を入れていただきたい。男子はフィジーク、これは今までのボディビル競技レベルの体作りは無理だけど、これくらいだったら俺にもできるという人たちにとっては魅力ある存在です。これも放っておくと男のファッションショーみたいになってしまう。今他団体がやっているけれど、他団体だと我々のようにけじめをつけられない。我々がやればスポーツ競技性にのっかって、ルール、マナー、そういうことをしっかり打ち出しながら国内的にも国際的にも発展させることができる、これに力を入れて行く。

それに伴っていろいろな運営方法があると思いますが、ベストに持っていきたいと思っています。その為に全国の皆様と手をたずさえて伸ばしていきたいと思っています。

というわけで審議する内容が多々ありますけれども、時間も限りがありますので皆様方と共に話し合いをやっていきたいと思っておりますのでご協力よろしくお願ひします。

◇ 定足数の確認

正会員総数 55 名。出席理事、正会員 27 名、委任状による出席正会員 25 名、合計出席正会員 52 名により、定款第 4 章第 17 条に定める 2 分の 1 以上の定足数を満たし、有効に成立。

決議事項

【第一号議案】平成26年度事業計画（期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日）

1. ボディビル・フィットネスの普及及び指導並びに振興

- ① 公益社団法人制度の対応
- ② 日本体育協会への加盟促進
- ③ 日本連盟の各主催大会実施(次項に詳細)
- ④ 登録会員(選手・指導者・審査員、個人愛好者)の拡大
- ⑤ 高齢化社会への対応策として、ボディビル・フィットネスを普及及び指導
- ⑥ 障害者へボディビル・フィットネスを普及
- ⑦ 地方選手権他大会に対する競技運営指導
- ⑧ 全国高等学校体育連盟への協力要請
- ⑨ 地方連盟に対するボディビル・フィットネスクラブの加盟促進指導と協力
- ⑩ JBBF認定クラブ制度への移行の準備と実施
- ⑪ 登録選手のマスコミ関係等広報協力と拡大
- ⑫ 財源の強化策として事業収入の増大および推進

2. 選手権大会(競技会)の実施と協力(主催大会・ブロック合同大会・ブロック大会開催予定)

主催大会

- | | | | |
|------------|-----------------------|-----|----------------|
| ① 7月6日(日) | 日本クラス別ボディビル選手権 | 岡山県 | 岡山市立市民文化ホール |
| ② 7月27日(日) | ジャパンオープン選手権 | 埼玉県 | 志木市民会館パルシティ |
| ③ 8月17日(日) | オールジャパンミスフィットネス選手権 | 三重県 | 津リージョンプラザお城ホール |
| ④ 8月17日(日) | オールジャパンミスボディフィットネス選手権 | 三重県 | 津リージョンプラザお城ホール |
| ⑤ 8月17日(日) | 日本クラシックボディビル選手権 | 三重県 | 津リージョンプラザお城ホール |
| ⑥ 8月24日(日) | 日本マスターズボディビル選手権 | 宮城県 | 仙台市太白区文化センター |
| ⑦ 9月6日(土) | 日本女子チャレンジカップボディビル選手権 | 東京 | 品川区きゅりあん |
| ⑧ 9月6日(土) | ミス21健康美大会 | 東京 | 品川区きゅりあん |
| ⑨ 10月5日(日) | 全国高校生・日本ジュニアボディビル選手権 | 大阪 | メルパルクホール |
| ⑩ 10月5日(日) | 男子・女子日本ボディビル選手権 | 大阪 | メルパルクホール |

ブロック合同大会

- | | | | |
|------------|----------------|-----|--------------|
| ① 7月20日(日) | 関東クラス別ボディビル選手権 | 神奈川 | サンピアン川崎 |
| ② 8月3日(日) | 関東ボディビル選手権 | 千葉県 | 千葉市文化センター |
| ③ 8月10日(日) | 西日本ボディビル選手権 | 大分県 | |
| ④ 9月21日(日) | 東日本ボディビル選手権 | 東京 | 江戸川区タワーホール船堀 |

ブロック大会

- | | | | |
|--------------|-----------------|------------------|---------------|
| ① 5月4日(日) | 東京オープンボディビル選手権 | 東京 | 北とぴあ |
| ② 7月20日(日) | オール関西フィットネス選手権 | 京都府 | 稲盛ホール |
| ③ 7月21日(祝・月) | 東京クラス別ボディビル選手権 | 東京 | かつしかシンフォニーヒルズ |
| ④ 8月17日(日) | 東京ボディビル選手権 | 東京 | かつしかシンフォニーヒルズ |
| ⑤ 8月17日(日) | 中国・四国ボディビル選手権 | 広島県 | |
| ⑥ 8月24日(日) | 東海マスターズボディビル選手権 | 岐阜県 | |
| ⑦ 8月31日(日) | 東北・北海道ボディビル選手権 | 福島県 | |
| ⑧ 8月31日(日) | 東海ボディビル選手権 | 静岡県 | |
| ⑨ 8月31日(日) | 関西クラス別ボディビル選手権 | 大阪 | |
| ⑩ 8月31日(日) | 九州・沖縄ボディビル選手権 | 長崎県 | |
| ⑪ 9月6日(土) | 日本社会人ボディビル選手権 | 東京 | 品川区きゅりあん |
| ⑫ 9月7日(日) | 関西ボディビル選手権 | 兵庫県 | |
| ⑬ 9月15日(祝・月) | 北陸甲信越ボディビル選手権 | 石川県(山梨県8/31から変更) | |
| ⑭ 9月23日(祝・火) | 九州クラス別ボディビル選手権 | 鹿児島県 | |

その他

- ① 26年度より男子フィジーク、女子フィットネスビキニ選手権大会の開催の検討及び実施
 - ② 地方連盟大会においてJBBF登録選手以外の参加を認めたオープン大会の実施
 - ③ ベストボディジャパンコンテストへの協力及び相互連携
3. ボディビル・フィットネスに係る公認指導員、公認審査員、公認審査集計員の養成、認定及び登録
- ① 公認指導員講習会並びに認定試験の実施及び登録
 - ② 指導員資格の中にヘルスウエイトトレーナー、パーソナルトレーナーの導入検討及び実施
 - ③ ヘルスウエイトトレーナー、パーソナルトレーナー講習会の検討及び実施
 - ④ フィットネス審査員(フィットネス、ボディフィットネス、フィジークなど)による競技会審査を行う
 - ⑤ 国際、アジアのジャッジテストを受付、有資格者を増員する
4. ボディビル・フィットネス施設の認定及び登録
- ① ボディビル・フィットネスを指導する施設では会員の安全性、快適性、健康管理に配慮がされ、かつそれが施設面、プログラム面、指導者面に十分反映されていることを確認し、施設利用者の心身面における健康の維持増進を図ることに努め、競技人口の拡大につながる施設か確認し、認定を理事会で決定する。
 - ② ボディビル・フィットネス施設の運営向上のための検討並びに協力
5. 国際組織への加盟及び役員並びに選手の派遣
- ① JBBFは、国際組織のIFBB(世界)、AFBF(アジア)に加盟し、役員を派遣。
 - ② 我が国のボディビル界を代表して国際組織への参加
 - (1) I F B B 総会への出席 11月12日～15日 ブラジル
 - (2) A F B F 総会への出席 6月19日～22日 スリランカ
 - ③ 国際大会の派遣は以下の大会を予定している。
 - (1) 6月19日～22日 スリランカ
第31回アジア女子ボディビル選手権大会へ選手役員の派遣
第48回アジア男子ボディビル選手権大会へ選手役員の派遣
第16回アジアミスフィットネス選手権大会へ選手役員の派遣
第11回アジアミスボディフィットネス選手権大会へ選手役員の派遣
 - (2) 10月3日～6日 メキシコシティ
第34回世界ジュニアボディビル選手権大会へ選手役員の派遣
第34回世界マスターズボディビル選手権大会へ選手役員の派遣
 - (3) 11月12日～15日 ブラジル
第68回世界男子ボディビル選手権大会へ選手役員の派遣
 - (4) 11月14日～21日 タイ プーケット
第4回アジアビーチゲームズへ選手役員の派遣
 - (5) 12月5日～7日 スペイン
第9回世界クラシックボディビル選手権大会へ選手役員の派遣
 - (6) 10月17日～20日 カナダ モントリオール
第32回世界女子ボディビル選手権大会へ選手役員の派遣
第19回世界ミスフィットネス選手権大会へ選手役員の派遣
第12回世界女子ボディフィットネス選手権大会へ選手役員の派遣
 - (7) 期日未定 日本(日時、場所の立候補)
第13回日韓親善ボディビル選手権大会へ選手役員の派遣
 - (8) 2015年3月 アメリカ
アーノルドクラシックアマチュアボディビル選手権大会へ選手役員の派遣

6. トレーニング機器、用品、食品の研究および認定(推奨、公認)

スポーツ選手の筋力トレーニング及び元気な高齢者を増やすための手段として、健康増進などのために筋力トレーニングを全国のボディビル公認クラブで実施し、安全性や効果的な基礎体力向上、筋力増大、筋力強化を目的としたトレーニング機器、並びに用品の研究と栄養補助食品などについての調査、研究を行っている。なお認定は理事会で決定する。

7. ドーピングの検査、アンチドーピングの広報と啓蒙

アンチドーピング活動に関しては世界の中でも日本は類のないアンチドーピングに徹した連盟として活動している。いまだにアジア、世界大会での派遣選手の中に陽性者を出していないが、更にドーピング委員会を中心に検査広報と啓蒙活動を実施していく。ドーピング検査は主催大会を含め毎年全国で45回程度実施しているが、26年度は検体数を増加する予定である。

8. 選手強化のための方策と検討

- ① JOC ジュニア特別強化選手の選考及び指導
- ② 強化合宿と強化プログラムの作成と実施
- ③ 公益財団法人日本オリンピック委員会の各委員会への参加
- ④ ジュニア並びに高校選手権に女子部門の普及
- ⑤ 高校生選手の普及拡大
- ⑥ 障害者選手の普及及び強化
- ⑦ 女子ボディビル選手の普及拡大
- ⑧ フィットネス関係選手の普及拡大
- ⑨ その他選手強化に関する指導及び育成

9. ボディビルに関する刊行物の発行及び監修

- ① 公式ホームページの充実
- ② JBBF レポートの発行及び内容の充実
- ③ 認定ビデオ・DVD・刊行物の作成、監修
- ④ ボディビルのトレーニング手引書の検討と作成

10. 助成金事業の充実強化

- ① 公益財団法人日本オリンピック委員会
選手強化NF事業補助金（国際大会派遣他）
- ② 独立行政法人日本スポーツ振興センター振興くじ助成
ドーピング検査、ジュニア・高校生大会の開催、日本マスターズ大会の開催

11. その他、この法人の目的達成並びに社会貢献に必要な活動

- ① ユニセフのチャリティ募金活動（ラフワーク、ハンドインハンド）への協力
- ② ユニバーサル駅伝（障害者イベント）への協力
- ③ ニューススポーツフェスティバル（東京都）への協力
- ④ 健康日本21国民運動（厚生労働省）への参画
- ⑤ 友好他団体の主催事業に対する後援等の協力
- ⑥ その他、社会貢献活動の実施

①アジア選手権の選手団の選考基準と選考案が朝生照雄選手強化委員長より出された。選考選手の中より公式派遣選手と自費参加選手を選考委員会で決定することが一任された。

②26年度タイのプーケットで開催されるJOC派遣の「ビーチゲームズ」はIFBBの昨年の総会ではクラシック競技となる予想が吉田進国際担当副会長より説明された。その場合には、三重県で開催される日本クラシック大会で派遣代表選手候補が選考される。

③「JBBF・Kentai 合同企画：プロティーン、サプリメント年間登録制度」について10月総会で発表したが、再度禁止薬物の成分が入っている海外製品の購入を減少させるため、この制度の説

明があった。

④赤木恭平理事より、「体協加盟の活動を早急に進めるべき」との意見があり、再度プロジェクト形式で進めることが提案され、推進について協力を惜しまないことが表明された。

⑤茨城県の西原広志正会員より、「関東ブロック大会開催の打合せの連絡がなかった」との質問があり、これについて青田正順ブロック代表理事より、「昨年、磯野武夫氏の問題がありました。関東クラス別大会を茨城県で開催するということになったのですが、それを何の連絡も無しにキャンセルした。それを月刊ボディビル誌にだけ連絡をして、関東ブロックの役員には何の連絡も無かった。急遽、関東ブロックの各県連盟の役員に連絡を取り、開催できるか確認をしたが、どこも無く、最終的に責任者である私の神奈川県で開催をした。急遽の関東クラス別大会開催であり、大会運営は赤字となった。今回は茨城県のハッキリした対応（謝罪発言、反省などがなかった）がなかったので、茨城県以外の県連盟に連絡を取り大会開催を決めた」以上の経緯が西原広志茨城県正会員に回答した。

第一号議案についての決議は、茨城県西原広志正会員が、議題でもないが「関東クラス別大会」のことについては反対するがそれ以外は賛成するとの発言があった。その後の決議で第一号議案は全会一致（全員賛成）で可決された。

【第三号議案】 規程の改定

1. 公認審査員認定規程
2. 諸費用規程
3. 選手権大会実施規程（詳細は後日公表）
4. 選手登録規程（詳細は後日公表）
5. 規則

第三号議案については、細部の内容に整合性、及び金額の調整が取れず、「ボディビル審査員有資格者がフィットネス審査員講習会受講後に認定されたフィットネス審査員登録費はボディビル審査員登録費に含み別途徴収しない」ことについては全会一致で可決され、これ以外の内容は執行部に一任することが全会一致で可決された。

尚、総会終了後、執行部意見調整、審議及び決議の結果を別紙の通り報告する。

【その他審議事項】 細則の改定

細則第5条[ブロック]2 旧：・・・ブロック内にある地方連盟の合意に基づき・・・・・・・・

新規挿入 新：・・・ブロック内にある地方連盟代表正会員の合意に基づき・・・

細則の変更は、理事会で決議されたことが報告され、総会でも全会一致で可決された。

【その他審議報告事項】 正会員の変更申請

- | | |
|-------------|--------------|
| ① 福井県連盟より申請 | (旧) 堀井達之正会員 |
| | (新) 佐々木大作正会員 |
| ② 沖縄県連盟より申請 | (旧) 金城正秀正会員 |
| | (新) 小田川晴美正会員 |

上記①②の正会員変更については、全会一致で可決されたことが報告された。

- | | |
|-------------|-------------|
| ③ 茨城県連盟より申請 | (旧) 西原広志正会員 |
| | (新) 磯野武夫正会員 |

上記③の申請は、理事会全会一致（全員反対）で正会員の変更申請を否決したことが報告された。

尚、西原広志正会員から、役員変更届の際規程により正会員の退会届が提出されたが、理事会で磯野武夫氏の正会員申請は否決されたので、理事会の決定に従う旨を確認した結果、退会届を受理しないこととした。尚、この件につき総会としても決議することとし、全会一致で可決された。

【その他審議報告事項】 27年度主催大会、東西選手権大会開催の立候補の受付及び決定

主催大会

- | | | | |
|---|-----|---|--------------------------------|
| ① | 月 | 日 | 日本クラス別ボディビル選手権 |
| ② | 月 | 日 | ジャパンオープン選手権 |
| ③ | 月 | 日 | オールジャパンミスフィットネス選手権 |
| ④ | 月 | 日 | オールジャパンミスボディフィットネス選手権 |
| ⑤ | 月 | 日 | 日本クラシックボディビル選手権 |
| ⑥ | 月 | 日 | 日本マスターズボディビル選手権 |
| ⑦ | 月 | 日 | 日本女子チャレンジカップボディビル選手権 |
| ⑧ | 月 | 日 | ミス21健康美大会 |
| ⑨ | 10月 | 日 | 全国高校生・日本ジュニアボディビル選手権東京メルパルクホール |
| ⑩ | 10月 | 日 | 男子・女子日本ボディビル選手権 東京メルパルクホール |

主催大会の主管連盟の申請を受け付けることとした。

東日本、西日本大会

9月6日(日) 北海道連盟より申請 東日本ボディビル選手権

東第8回女子東日本、女子東日本ボディフィットネス、
第16回男子東日本クラス別選手権大会
札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2・7ホール

月 日 西日本ボディビル選手権

東日本大会は、北海道での開催が全会一致で可決された。また西日本大会は6月までに報告

【報告事項】 磯野武夫、宮本譲二、臼井修の3氏の公認審査員資格について

3氏から、理事の解任についての取り消し申請について日本スポーツ仲裁機構は、3氏に対して申立を却下したが、公認審査員資格の資格停止については、理事の解任と結びつかず、競技の観点から、JBBFに対し、資格停止の取り消しの決定がされた。これを受け、理事会で3氏の公認審査員資格停止を取り消すことを提案し、全会一致で可決されたことが報告された。

【報告事項】 新規加盟クラブ及び退会クラブ他

1. 新規加盟クラブ

- | | | | |
|------|-------------------------------|-----|-----------------|
| ① 所属 | : 広島県連盟 (同好会) 正加盟 | 受付 | : 平成26年2月10日 |
| クラブ名 | : 東広島ボディビル・フィットネス同好会 | 設立 | : 平成26年3月1日 |
| 住所 | : 広島県東広島市西条町御薊宇1752-3 | 電話 | : 090-2863-4739 |
| 代表 | : 河村 秀美 (指導員2級) | 指導員 | : 河村秀美 (2級指導員) |
| 入会金 | : 0円、月会費: 500円 | | |
| ② 所属 | : 佐賀県連盟 (クラブ) 準加盟 | 受付 | : 平成26年2月7日 |
| クラブ名 | : body make ONIX (ボディメイクオニクス) | 設立 | : 平成25年1月23日 |
| 住所 | : 佐賀県唐津市和多田本村2677-8 | 電話 | : 0955-72-5577 |
| 代表 | : 鬼木 貴史 (指導員資格なし) | 指導員 | : なし |
| 入会金 | : 5,250円、月会費: 5,775円 | | |
| ③ 所属 | : 日本社会人連盟 (クラブ) 準加盟 | 受付 | : 平成26年1月22日 |
| クラブ名 | : 大澤整体ボディビル・フィットネスクラブ | 設立 | : 平成20年4月20日 |
| 住所 | : 千葉県千葉市緑区誉田町2-7-113 | 電話 | : 043-293-1191 |
| 代表 | : 大澤 正 (指導員資格なし) | 指導員 | : なし |
| 入会金 | : 0円、月会費: 0円 | | |

- ④ 所属 : 日本社会人連盟 (クラブ) 準加盟 受付 : 平成26年2月19日
 クラブ名 : 明治グループボディビルクラブ 設立 : 平成25年8月1日
 住所 : 東京都中央区京橋2-4-16 電話 : 03-3273-6030
 代表 : 小島 彬義 (指導員資格なし) 指導員 : なし
 入会金 : 0円、月会費 : 0円
- ⑤ 所属 : 日本社会人連盟 (クラブ) 準加盟 受付 : 平成26年2月19日
 クラブ名 : 名古屋市消防局ボディビルクラブ 設立 : 平成26年1月8日
 住所 : 愛知県名古屋市南区桜本町24番地 電話 : 052-825-0119
 代表 : 平山 善勝 (指導員資格なし) 指導員 : なし
 入会金 : 0円、月会費 : 4,000円

※(正)未着

- ⑥ 所属 : 広島県連盟 (クラブ) 正加盟 受付 : 平成26年2月20日 (副のみ)
 クラブ名 : ストレングスジム 設立 : 平成25年11月22日
 住所 : 広島県広島市西区観音本町2-7-4 電話 : 082-296-5194
 代表 : 重岡 寿典 (指導員1級) 指導員 : 重岡寿典 (1級指導員)
 入会金 : 10,000円、月会費 : 9,000円
- ⑦ 所属 : 東京連盟 (クラブ) 正加盟 受付 : 平成25年10月25日 (副のみ)
 クラブ名 : MUSCLE GYM 設立 : 平成25年9月26日
 住所 : 東京都練馬区豊玉北5-24-2パシフィックニュー豊玉ビル2F 電話 : 03-6915-8824
 代表 : 澤田 勝 (指導員資格なし) 指導員 : 塩貝 直紀 (2級指導員)
 入会金 : 20,000円、月会費 : 13,000円

※東京連盟未承認のため再提出 (正)未着

- ⑧ 所属 : 東京連盟 (クラブ) 正加盟 受付 : 平成26年2月4日
 クラブ名 : YANO'S GYM TOKYO 設立 : 平成25年1月7日
 住所 : 東京都千代田区外神田6-7-3 成興ビルB1 電話 : 03-3834-9777
 代表 : 谷野 義弘 (指導員資格なし) 指導員 : 内田 将士 (1級指導員)
 入会金 : 21,000円、月会費 : 10,500円
- ⑨ 所属 : 福岡県連盟 (クラブ) 正加盟 受付 : 平成26年2月17日
 クラブ名 : ゴールドジム博多福岡 設立 : 平成26年2月1日
 住所 : 福岡県福岡市中央区天神1-14-16 電話 : 092-737-7272
 代表 : 手塚 栄司 (指導員資格なし) 指導員 : 田代 誠 (2級指導員)
 入会金 : 5,000円、月会費 : 9,000円

2. 退会クラブ

- | | | | |
|----------|------------------------|--------|-----------|
| ①千葉県連盟 | 遠藤ジム千葉 | 遠藤光男代表 | 閉鎖のため退会 |
| ②栃木県連盟 | 第一トレーニングセンター | 入月和男代表 | 閉鎖のため退会 |
| ③東京連盟 | 小岩トレーニングセンター | 磯村俊夫代表 | 閉鎖のため退会 |
| ④沖縄県連盟 | アスレチッククラブサムソン同好会 | 上原雅志代表 | 退会 (運営継続) |
| ⑤日本社会人連盟 | アルファ・トゥ・ルミエール雅ボディビルクラブ | 根津 綾代表 | 閉鎖のため退会 |
| ⑥日本社会人連盟 | セイコーインスツルボディビルクラブ | 志村吉春代表 | 閉鎖のため退会 |
| ⑦日本社会人連盟 | 都ボディビルクラブ | 松村正幸代表 | 閉鎖のため退会 |
| ⑧日本社会人連盟 | MACO治療院ボディビルクラブ | 渡邊 茂代表 | 閉鎖のため退会 |
| ⑨日本社会人連盟 | 警視庁警察署ボディビルクラブ | 鴛海秀則代表 | 閉鎖のため退会 |
| ⑩日本社会人連盟 | 登坂運送ボディビルクラブ | 登坂勉代表 | 退会 |

3. その他 変更

- ① 所属 : 日本社会人連盟 クラブ名称の変更 (北村弘之代表)
 尼崎市立園田南小学校ボディビルクラブから同市立難波小学校ボディビルクラブへ

- ② 所属 : 静岡県連盟 クラブ代表者変更
マッスル&ビューティー 後藤剛代表から後藤多賀子代表へ
- ③ 所属 : 和歌山県連盟 代表者及びクラブから同好会へ変更
山路康祐代表から山路範子代表へ
筋トレ道場FREEDOMから筋トレ道場FREEDOMボディビル同好会へ
- ④ 所属 : 三重県連盟 クラブ名称の変更 (宮島望代表)
ジャングルジム津からトレーニングジムKENKODOへ
- ⑤ 所属 : 宮城県連盟 クラブ代表者変更
ライフフィットスポーツ 阿部勉代表から大塚耕輝代表へ

新規加盟クラブ申請の内、⑥⑧ともに県連盟の承認申請は届かなかったが、全会一致で新規加盟、退会クラブ、その他変更ともに可決されたことが報告された。尚、東京新規加盟クラブのマッスルジムの名称について、藤原達也副会長より、宮城県にも同音同名クラブがあるので、対応を東京連盟辻本俊子理事へ一任した。

【報告事項】 26年度専門委員会、JOC強化スタッフ選任

推薦

- 1. 岡田 隆 氏 専門委員会 (選手強化) 了徳寺大学准教授
 - 2. 木下美弥子女史 専門委員会 (女子)、JOC強化スタッフ (情報戦略) 公認審査集計員
- 全会一致で2名の選任が可決されたことが報告された。

その他報告事項

1. 訃報

森徹理事 (78才) が26年2月6日 (木) 8時52分にご逝去されました (報告)。

2. 石井直方教授 (副会長) の遺伝子に関する調査研究

研究課題「筋肥大及び資質代謝に関わる一塩基多型の網羅的探索」

過去のトップビルダーを含め、ボディビル選手のDNAの調査に全面的に協力する事が報告

3. フィットネス審査員、審査集計員の講習会日程 (各ブロック開催) 予定報告

- ① 26年3月30日 中国四国ブロック 広島県 RCC 文化センターにて開催
- ② 26年4月13日 東北北海道ブロック 宮城県仙台市泉区中央市民センターにて開催
- ③ 26年5月18日 北陸甲信越ブロック 長野県中野市民会館にて開催
- ④ 26年6月1日 東京ブロック

4. 未収金 (地方連盟他) の報告

- ① 秋田県連盟
- ② 大分県連盟
- ③ 福岡県連盟
- ④ 兵庫県連盟

5. 謝金等支払い方法の変更

現金にて支払っていた大会審査員他役員の交通費・謝金などを、平成26年度より銀行他の振込に変更することが報告された。

6. ドーピング委員会報告

- ① 競技会検査報告
25年度ドーピング検査にて4名の陽性者
- ② 2014年度ドーピング競技会検査 日程一覧

7. 審査委員会報告

審査員基礎資料報告

審査員指名案基礎資料（審査得点一覧表）

8. 27年度個人登録、県連加盟クラブとJBBF認定クラブ

27年度から加盟クラブは、県連にそのまま加盟クラブとして登録し、JBBFには認定クラブの申請をする。認定後5年に一度の施設の実地検査を行い施設の更新認定を行う。また、27年度より個人登録制度に移行するが、新認定クラブ所属選手は選手登録費の優遇措置を受けることとする。また、個人登録制度も現在の直接日本連盟登録を止め、地方連盟経由とするなどの意見もあり、公益性を考えると個人登録制度は止むを得ないとの意見もあった。今後意見調整を行う。

公益法人として認知を受けるためには差別化しない、全国民、誰でも希望者、愛好者がいれば受け入れ、恩恵を受けられるようにする。それが公益ということ、つまり特定の人の私益ではなく。公認クラブの会員でなければ出場できないということではない。JBBFでは選手が2,000名も登録していないが、他の競技団体では少なくとも数万人いる。笹川スポーツ財団調査レポートで、550万人が週2回は筋力トレーニングを行っているが、この550万人のうち公認クラブで会員としてトレーニングしている登録選手は2,000人に満たない。

健康づくりを目指すなら現在フィットネスクラブや公設トレーニング施設から引き寄せる時代で、そのための戦略が必要。

加盟クラブは県連盟を通して日本連盟に加盟する。今は申請すれば加盟登録ができる。認定制度として、公認指導員がいること、健康度に応じた指導の差別化、施設の安全管理と衛生管理、外部医療機関との連携などを行い、一般市民、行政からも認められる施設にしなければならない。もちろん県連盟を通すことと、調査にはブロック代表理事の協力も必要となることなどが説明された。

9. フィットビートよりの案内

JBBF 公認トレーニングスーツ、トランク価格表示変更案内

10. イベントボランティア

ニュースポーツイン多摩 3月15日（土）国営昭和記念公園（ゆめ広場）

鈴木雅選手、久野礼子選手によるゲストポーズ

11. 報奨金 世界男子、世界マスターズ（40万円）の授与

①田代 誠（東京連盟所属）

15万円 2013年世界男子ボディビル選手権に於いて3位（29人中）

②仲泊 兼也（沖縄県連盟所属）

5万円 2013年世界マスターズボディビル選手権に於いて2位（4人中）

③菊池 正幸（宮城県連盟所属）

5万円 2013年世界マスターズボディビル選手権に於いて3位（4人中）

④井原 茂（社会人連盟所属）

5万円 2013年世界マスターズボディビル選手権に於いて2位（4人中）

⑤山下 由美（宮城県連盟所属）

10万円 2013年世界マスターズ（ボディフィットネス）選手権に於いて3位（6人中）

総会の席上で、所属連盟正会員に賞状と報奨金が授与された。

12. 世界大会成績発表

アメリカ・オハイオ州で開催された「アーノルドクラシックアマチュア大会」

結果報告 2014年2月27日から、3月1日

70kg級 銅メダル（三位）/12名出場 田代 誠 選手

80kg級 銅メダル（三位）/24名出場 鈴木 雅 選手